

子どもの虐待防止推進 全国フォーラム in とっとり

子どもたちの未来のためにつなぐ確かな絆

1 趣旨

児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加傾向にあり、特に子どもの生命が奪われるなどの重大な事件が後を絶たず、児童虐待は社会全体で解決すべき重要な問題となっています。児童虐待の発生予防、発生時の迅速・的確な対応から虐待を受けた子どもの自立支援まで、切れ目ない総合的な対策をさらに進めることが必要です。

厚生労働省では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図るため、集中的な広報・啓発活動を実施しています（平成16年度から実施）。

令和元年度も、この取組の一つとして、児童虐待問題に対する理解を国民一人一人が深め、主体的な関わりを持てるよう、「子どもの虐待防止推進全国フォーラム in とっとり」を鳥取県倉吉市で開催します。

2 主催

厚生労働省

3 共催

鳥取県、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、
琴浦町、北栄町

4 開催日時

令和元年11月16日（土） 13:30～17:30
令和元年11月17日（日） 9:00～12:45

5 会場及び参加定員

倉吉未来中心
鳥取県倉吉市駄経寺町 212 - 5
定員：600名程度（基調講演）
400名程度（分科会会場合計）

6 参加費

無料

7 プログラム (予定) ※手話通訳あり

1日目 (11月16日)

12:30～ 開場・受付開始

13:30～ 開会式

- 開会挨拶 (主催者及び共催者代表)
- 令和元年度児童虐待防止推進月間標語最優秀賞 (厚生労働大臣賞) の授与

14:00～16:00 基調講演

「虐待の影響について考える ～子どもたちが力強く成長するためにできること～」

講師：オルガ・R・トゥルヒーヨ氏 (米国弁護士・コンサルタント)
通訳：中島 幸子氏 (NPO 法人レジリエンス代表)、伊藤 聖美氏

16:15～17:30 いのちを考える音楽会

「語りと歌」

村上 彩子氏 (ソプラノ歌手)

2日目 (11月17日)

9:00～11:30 分科会 (4分科会構成)

第1分科会 被害者支援を考える ～被害者が真に望む支援とは～

概要

被害者支援は、支援を受ける側と行う側の協力関係で成立し、一方的な支援は場合によっては被害者を追い詰める場合もある。虐待被害経験者からの意見を基に「被害者が真に望む支援」について考える。

コーディネーター

西井 啓二氏 (NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取常務理事)

パネリスト

- ①オルガ・R・トゥルヒーヨ氏 (米国弁護士・コンサルタント)
 - ②村上 彩子氏 (ソプラノ歌手)
 - ③山本 潤氏 (一般社団法人 Spring 代表理事)
- 通訳：中島 幸子氏 (NPO 法人レジリエンス代表)、伊藤 聖美氏

第2分科会 司法面接の現状と課題 ～今後の司法面接のあり方～

概要

正確な事実を子どもにとってできる限り少ない負担で子どもから聞き取るための面接手法である「司法面接」についてその概要を説明し、「司法面接」とその前提となる「多機関連携」の課題について、鳥取県内の現状と全国的な流れの比較検討を踏まえて、司法・福祉・医療のそれぞれの立場のパネリストがディスカッションを行い、子どもにとってより良い「司法面接」と子どものための専門機関の連携を考える。

コーディネーター

大田原 俊輔氏 (弁護士法人やわらぎ 代表弁護士)
北野 彬子氏 (きたの法律事務所 弁護士)

パネリスト

- ①飛田 桂氏 (ベシアヴェニュー法律事務所 弁護士)
- ②片桐 千恵子氏 (医療法人同愛会 博愛病院 産婦人科部長)
- ③中村 葉子氏 (横浜地方検察庁 総務部長 検事)
- ④石橋 弥雪氏 (鳥取県米子児童相談所 参事)
- ⑤小松原 慶一氏 (鳥取県米子児童相談所 児童心理司)

第3分科会 医療と他機関連携
～子ども虐待予防と多機関連携で子どもの未来を守る～

概要

香川 (高松)、大分 (中津)、静岡 (浜松) での子ども虐待予防と多機関連携の取り組みの実践から、子どもの未来を守る医療と多機関連携・協働による子どもを虐待死させない包括的支援システムの構築を考える。

コーディネーター

石谷 暢男氏 (鳥取県小児科医会 会長)

パネリスト

- ①井上 登生氏 (医療法人 井上小児科医院 理事長)
- ②山崎 知克氏 (浜松市子どものこころの診療所 所長)
- ③木下 あゆみ氏 ((独) 国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター 小児アレルギー科医長 育児支援対策室長)

第4分科会 地域支援（拠点と他機関連携）～子どもを守るしくみづくり～

概要

子どもを守るためにはどうすればよいのか？目黒、野田、札幌、出水等、虐待死事件の報道が途切れることはない。果たして現場では何がどうなっているのか？事件の度に「情報共有」や「連携」に課題があると指摘されるが、本当に議論すべきはその先の具体論である。壁があるとされる保健、福祉、教育等の現場で真摯に児童虐待に向き合ってきた職員たちと本音で語り合い、子どもを守るしくみづくりについて会場全体で考える。

コーディネーター

鈴木 秀洋氏（日本大学危機管理学部 准教授）

パネリスト

- ①高橋 絵美氏（中津市子育て支援課 主査）
- ②鈴木 智氏（南房総市教育委員会こども教育課 教育相談センター長）
- ③林 和子氏（山口市子ども未来部保育幼稚園課 やまぐち子育て福祉総合センター長）
- ④三谷 裕之氏（鳥取市健康こども部次長兼こども家庭相談センター所長）

11:30～12:30 全体会

各分科会の代表者が議論を発表し、全体のまとめを行う。

司会進行

小谷 昭男氏（鳥取県子育て・人財局家庭支援課長）

報告者

- 第1分科会 西井 啓二氏（NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取常務理事）
第2分科会 北野 彬子氏（きたの法律事務所 弁護士）
第3分科会 石谷 暢男氏（鳥取県小児科医会 会長）
第4分科会 鈴木 秀洋氏（日本大学危機管理学部 准教授）

オブザーバー

柴田 拓己氏（厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室 室長）

12:30～12:45 閉会式

8 会場へのアクセス



倉吉未来中心（鳥取県倉吉市駄経寺町 212 - 5）

【JR 倉吉駅より】

- 自家用車・タクシーで 倉吉市役所、打吹公園方向へ 約 10 分
- 路線バスで
倉吉駅バスターミナル…〈2番のりば〉…西倉吉、生田車庫、広瀬行き
《1. 倉吉パークスクエア経由》
倉吉駅 → (約 12 分) → 倉吉パークスクエア下車
《2. 倉吉パークスクエア経由外》
倉吉駅 → (約 9 分) → 倉吉パークスクエア北口下車

【鳥取空港より】

- 鳥取空港～（連絡バス）～倉吉駅～（路線バス）～倉吉パークスクエア 徒歩 1 分
- 鳥取空港～（連絡バス）～鳥取駅～（JR 山陰本線）～倉吉駅～（路線バス）～倉吉パークスクエア 徒歩 1 分

問い合わせ先

- 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室…………… 03-5253-1111（内線 4898）
- 鳥取県子育て・人財局家庭支援課児童養護・DV 担当…………… 0857-26-7149